

教育課程編成委員会開催記録

1. 開催日時：平成 29 年 12 月 25 日（月） 17 時～17 時半
2. 開催場所：ミス・パリ エステティック専門学校 応接室
3. 参加者：教育課程編成委員会委員
杉山枝里（ミス・パリエステティック専門学校名古屋校 副校長）
川原田恵美（同校トータルビューティ学科 教育課）
吉田知子（株式会社シェイプアップハウス 教育部）
田邊秀子（NPO 法人日本スパ・ウェルネス協会 教育委員長）

4. 議事概要

技術

◆学校より現状報告

- ・企業の教育部が行うトレーナー研修に学校講師が参加し、その結果を講師研修でフィードバックすることにより、全講師の技術統一を行っている。
- ・新しい授業に入る前、講師の技術と指導ポイントの統一を図るため、月に 1 回の講師研修で統一を図っている。

《TB1 年生》

- ・ネイル検定 3 級受験者数 29 名 在籍者数の 33.7%が受験。
合格率：68.9%（前年度 38%）

《TB2 年生》

- ・ビューティセラピスト試験 受験者数 72 名
合格率 98.6%(前年度 85.2%)
- ・ダイエットプロフェッショナル試験 受験者 33 名
合格率 60.6%(前年度 39.0%)
前年度、実技試験の合格率が低かったため、瘦身機器の授業の進め方について改善を行った結果、合格率が 30%上昇した。

◆課題

- ・ネイル検定受験者数が少ない。授業中から、検定試験の時期や検定試験を受ける前提で授業を進めていき、目標を明確にすることで受験者数、合格率を上げる。
- ・講師の技術統一と指導方法の改善により資格試験の合格率アップにつながっている。技術力向上のため基本的な身体の使い方(姿勢・体重移動)、時間に対する意識づけを日々の授業から指導強化していく。

◆企業からの要請事項

- ・技術の効果に対するこだわりを持たせるような指導(姿勢・体重移動・6 手技)とともに筋肉、肌の知識をしっかりと持ったうえで施術できるような教育をお願いしたい。

理論

◆学校より現状報告

《TB1年生》

- ・サービスマナー検定3級 受験者数 86名
合格率 96.5% (前年度 97%)
- ・全校統一前期末筆記試験 名古屋校平均点：86.0点(5校中4位)
1組平均点 90.1点 2組平均点 82.2点
集中力、学習習慣などに大きな差があり、クラス平均点にも差が出ている。

《TB2年生》

- ・JEO認証ソワンエステティック上級試験 受験者 72名
合格率 98.6% (前年度合格率 80%)
- ・全校統一前期末筆記試験 名古屋校平均点：62.3点(5校中4位)
- ・学内サロンや文化祭は昨年同様に売上目標を設定し、販売に対する意識を持たせることで売上を上げることができている。
- ・前年からの課題であるロールプレイングの授業を実施できていない。

◆課題

- ・2年生の定期試験の平均点 62.3点合格の70点を下回っている。定期試験における平均点アップが課題。そのために授業内に復習を盛り込む授業の工夫と学習習慣をつけるような関わりが必要。教科担当講師に授業方法の見直しを行なう。
- ・ロールプレイングの授業を確実に実施するために学園祭の前にロールプレイングができる授業(商品販売、技術・化粧品セールストーク)を年間計画に加える。

◆企業からの要請事項

- ・学校の試験や資格試験に合格するための学習になっており、お客様へのセールストークに活かされていない。各理論で学んだ事がお客様にお話しできるような伝達力をつけていただきたい。

マナー及びモチベーション

◆学校より現状報告

《TB1年生》

- ・進級見込み率：95.3%(86名中82名進級見込み)
前年度進級率：83.5%(91名中76名進級)
担任2名体制(担任・副担任)をとっていることに加え、授業担当講師のガイダンス参加を減らしたことにより学生対応へ集中することができ、進級見込みを増やすことができた。

《TB2年生》

- ・卒業見込み率：79.1%(91名中72名卒業見込み)
前年度卒業率：88.3%(77名中68名卒業)
今年度2年生の卒業見込み率が前年度の卒業率を9ポイント下回っている。
特に進級率が低く、その理由として対人関係のトラブル、不登校の経験を持つ学生も多かったことが原因。前年度は副担任を学年で2名と配置していたため、クラス単位での認識

が曖昧になっていた。そのため、今年度は担任2名体制で学生指導にあたったことで進級率は上がっている。

- ・ 前年に引き続き「正しい敬語や言葉遣い」について指導を行っているが、まだ、徹底ができていない。積極的な挨拶ができていない状況。

◆課題

- ・ 担任2名体制を継続することと、退学希望者に対する担任以外の講師との面談することで退学者が減っているため、講師間の情報共有を密に行い、早期の学生対応に努める。
- ・ 学生指導において学生との関係を作るため、話しかけやすい環境を作っているが、お客様の前でも切り替えができない。

◆企業からの要請事項

- ・ 挨拶ができるようになってきている。丁寧語と話し言葉の区別を徹底して、社会人としての立ち居振る舞いができるような教育をお願いしたい。

就職関連

◆学校より現状報告

- ・ T B 2 年生の就職活動は9月6日に就職内定率100%達成。(前年度は8月下旬に達成)
- ・ 今年度より、就職活動の動きを早くするため、T B 1 年生のキャリア教育の授業を5月から開始している。

◆課題

- ・ 早期に就職に関する意識を付けさせること。
- ・ 就職活動の早期促しと、社会人としての心構えの指導により、入社までが円滑に進むサポートをする。

◆企業からの要請事項

- ・ 新入社員の病気(体調不良)による欠席が増えているため、体調管理についての意識を持つような指導をお願いしたい。

総括

- ・ 企業のトレーナー研修に参加し講師への研修報告の実施により、指導の統一が図れ、資格取得率も上昇がみられている。そのことから学生教育において企業との連携が重要であることを再認識した。
- ・ 資格受験率・資格取得率共に上昇傾向ではあるが、特定の検定においては受験者数が少ないため、受験者を増やしていくことが重要である。そのため、学生のモチベーションの維持と受験環境を整える準備と関わりが必要である。
- ・ 学ぶことに対して受け身になっている学生が多いため、学ぶ姿勢や心構えなど精神力の強さも育てていく必要がある。

次回開催予定：2018年 8月 予定

以上